

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	遠藤 龍之介		
入学年度	令和 2 年度	学籍番号	20GG901
領 域	総合リハビリテーション 科学領域	分 野	
審査委員	主 査	高見 彰淑	
	副 査	北宮 千秋	
	副 査	吉田 英樹	
	副 査	對馬 栄輝	

論文題目：

域在住高齢者における生活空間と階段昇降動作との関連

審査結果要旨：

本研究は、高齢者の生活空間における階段昇降動作とその特異性について述べたものである。高齢者や障害のある方は、生活空間の広がりに対し移動範囲いわば歩行を中心に語られることが多い。しかし、本研究は日本の生活において避けて通れない、段差や階段昇降について言及しており、特に体幹や膝関節の運動の滑らかさを躍度 (jerk) として測定し、日常の活動指数であるライフスペースアセスメントとの関連から述べられている。また、階段昇降時の膝関節と体幹の動きを、ハイスピードカメラで捉え、2 次元的に Normalized jerk score と Normalized angular jerk cost を算出し、高齢者の階段昇降動作の円滑性を表現した点に新規性を認め、階段昇降に限らず、今後の動作分析方法探求の一端を担う予想がなされた。

申請された学位審査論文および学位審査会において、申請者は本研究の意義、結果に対する解釈に関して先行研究を適宜引用しながら示していた。

本研究の研究計画、特に緻密な実験計画とその遂行能力、さらにその測定結果を分析する能力、解釈する力については、高い研究遂行能力をもつことが確認できた。その一方でサンプルの少なさや対象となる既存疾患の偏りを考慮した研究限界にも触れながら、適切な倫理的手続きに基づき研究を進めてきたことが、学位審査論文および学位審査会において確認された。また、十分な倫理観を身につけていることが、学位審査会の質疑応答により判断された。

最終試験 令和 5 年 1 月 19 日

試験の結果は 合 格 ・ 不 合 格 と判定する。